

What's NATTARA?

NATTARA トレーニングスクール 設立の経緯

2020年11月、「NATTARAトレーニングスクール」をオープンすることができました。

コロナ禍のなか、関係各位の多大なご支援のおかげです。

本当にありがとうございます。

さて、この「NATTARAトレーニングスクール」とは何か、何が目的なのか、
いろいろ疑問を持たれる方がいらっしゃると思います。

ここであらためて、「NATTARAトレーニングスクール」の立ち上げ経緯をお話しすることで、
みなさまのご理解と今後の活動へのご指導・ご支援を承ることができればと願う次第です。

運営代表 吉永 恵一

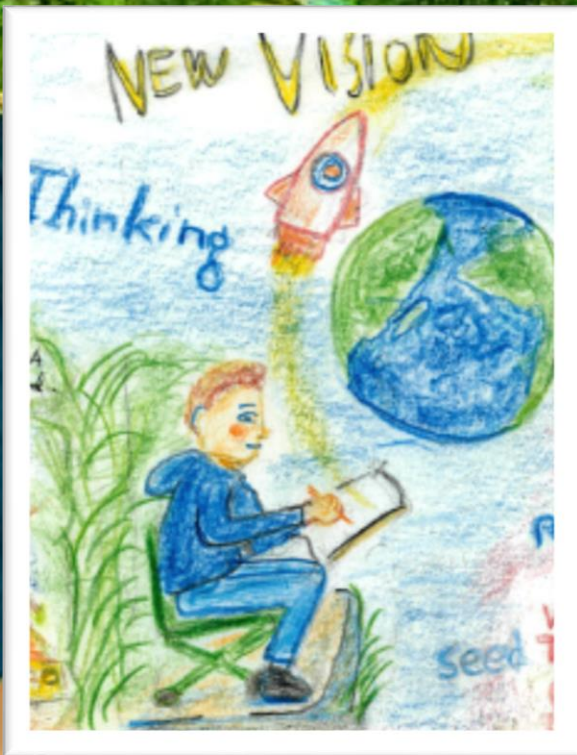
2020年4月、全国に新型コロナウイルス対策による「緊急事態宣言」が発動されました。私たちは外出を控えなくてはなくなり、仕事はほぼ全面ストップ。仕事をしない日々が続きました。

不安と安らぎ(仕事から一瞬開放される)が混在する感覚は、初めて味わうものです。

自宅が多摩川に近く、毎日多摩川の自然を満喫できる日々は、落ち着いて自分を見つめなおす機会を与えてくれました。

この難局に
どう立ち向かうのか…
もう一度「原点」に
もどることにしました。

本当は何をしたいのか…



アイデアは多摩川から生まれました

2020年はコロナ禍がなくても経済環境は厳しい見通しであったはずでした。

社会経済情勢は大きく変化し、企業はあらたな価値を生み出していくことが求められ、それができないことは会社の消滅につながっていきます。

だから4月からのコロナ禍の数か月は、私のビジネス人生最大の「考える時間」でした。

「NATTARAトレーニングスクール」の
運営母体である株式会社クレドは
2002年、企業コミュニケーションの
企画制作会社として立ち上げました。

CS(お客さま満足)を軸とした
コミュニケーション媒体の企画制作が
中心です。

私たちが大切にするのは「現場」です。

現場にはたくさんの「知恵」があり、
それを取材で「抽出」して
スタンダードな「行動」「意識」として
広めていくことが、私たちの仕事です。



私たちは、「わかりやすく」「楽しく」「やさしく」伝えていく
ことに時間をかけます。

世の中には「難しく書かれたもの」が多すぎるからです。
いいことが書かれていても、難しく書かれていたら伝わ
らない。自分は、「翻訳者」「解説者」でありたいと強く
思っています。

そこをもっと追求していこう。

いままで「材料」は、クライアント企業から提供された。
それを料理する。これはできる。

しかし、これから大切なことは「材料」を自分たちが
探し出し、創り出し、それを料理すること。

「材料」すなわち、「わかりやすくすべきテーマ」は
どこにあるのか？

アイデアは多摩川から生まれました

いろいろなことを
考え試行錯誤。
(もちろん、今も)

川の流れを
無心に眺めていると
北海道の
ある「人物」が
突然浮かんできました。

多摩川の川べりにたたずんで沈思黙考していたとき、北海道の経営コンサルタントの越前氏の「リーダーシップ研修」の映像が脳裏に浮かんできました。わかりやすい、元気が出る研修でした。

これだ！

著名な経営理論をしっかりと自身で咀嚼し、それをご自身の実体験とともに話す、真に腑に落ちる内容でした。

自分は、いろいろな研修をオブザーブレポートしていましたが、この研修がどこにも属さないものとして認識していました。越前賢一氏のすばらしい人柄で成立しているオリジナルなものです。



こうした「いいもの」を
「わかりやすく」「楽しく」「やさしく」
私たちならではの演出をして
広めたいという構想が
沸々と湧いてきました。

アイデアは多摩川から生まれました



そらだ 「越前賢一」をエルビスにしよう！

構想はどんどん広がっていきます。
なぜか、越前氏がエルビスプレスリーの姿をして歌っている映像が見えるのです。

すぐに色鉛筆で絵にしました。
マイクを片手にもって、歌うように研修をしている。
そのうち、ステージは海で、サーフィンに乗っている。

ご本人に電話して話しました。
そのときは「いいね」のひとこと。

それはそうです。
あまりにも奇想天外な話です。
でも、面白い。

面白くなかったら、例えば「リーダーシップ論」なんか、だれも気軽に振り向いてはくれない。

アイデアは多摩川から生まれました

むずかしいものを、むずかしいままにしてはいけない。
いいものであれば、私たちがうまく料理するのです。

いろいろな人にどんどん構想を話し そして大変重要な賛同者「斉藤浩一氏」 を迎えることができました。

「NATTARA」の語源について。

世の中には、いろいろな研修があります。
リーダーシップ研修、マネジメント研修、接客研修、
営業研修など。

でも何か足りないと思っていました。

ある日突然、店長になったら
ある日突然インタビューをすることになったら
ある日突然プレゼンをすることになったら…。

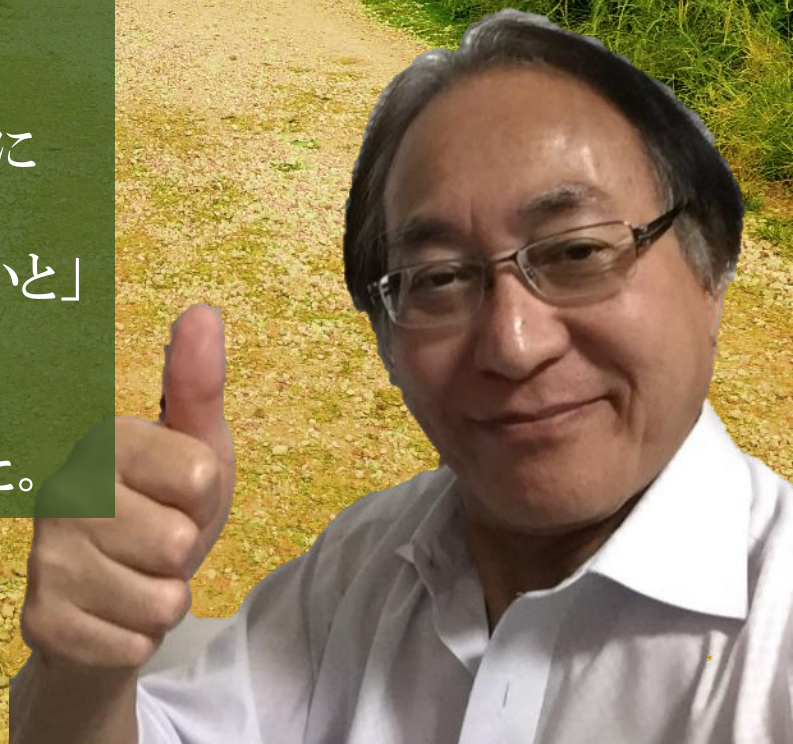
そのときに、どうやればいいのか、
みんな悩むのではないのでしょうか。

でもその日のために研修を積極的に受ける人は、
少ないのが現状ではないのでしょうか。
会社が行けといったからとか。
これでは、大変もったいないのです。

だからもっと、受ける人に
積極性を持ってもらうために
「…になったら
これは身につけておかないと」
という必要不可欠な
イメージを
「NATTARA」に託しました。

斉藤氏は、コピーライターです。
この言葉のプロフェッショナルが
参画することで、稚拙な構想が
大きく飛躍していきます。

越前氏も、斉藤氏の言葉で
書かれた構想によって
現実味を帯びてきたと
感じていただいたと思います。



賛同してくれる
仲間がまた増えました。

そして、越前氏は
本当のステージに立つこと
になってしまいました。



当初エルビスイメージは
イラストで展開していく方針でした。

ところが6月、思いもかけないメールが
来ました。友人の経営する音響・照明
会社がミュージシャンサポートのために
「ライブ配信用ステージ」を立ち上げた
のです。

「これは天から贈り物だ！」
と思い、すぐ友人に自分たちの構想を
話しました。

友人は快諾。
越前氏は本格的衣装で
そのステージで研修動画制作を
することになりました。

エルビスの衣装は米国に
注文して取り寄せました。

普段の仕事以上にみんなこだわり、
動画は完成しました。



こうした経緯でWEBサイトはオープンしました。

これからは、いろいろな方々のご意見やご支援をいただきながら、
より面白くてためになるコンテンツを
ともに制作、配信していきたいと考えます。

そして、このトレーニングスクールの活動やネットワークも
さらに広げていこうと考えています。

どうか、みなさまの温かいご理解・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

2020年11月吉日

NATTARAトレーニング スクールの〈基本構想〉

(NATTARAトレーニングスクールとは)

NATTARAトレーニング スクールは、
「成長したい」と思うすべての人を支援することにより、
ともに成長を目指す研修スクールです。

NATTARA
ACADEMY

すべての人

||

「成長したい」
思い

||

私たち



ともに成長し、
なりたい
自分になる

成長するための
★ヒント ★学び
★機会・場・出会い

- NATTARAスキル
- 人材育成研修
- NATTARA特別企画 (準備中)
- オンライン相談室
- Special Story